

## Q 公共施設等管理計画の 今後の進め方は

### A 施設の更新、統廃合、長寿命化を進める

公共施設ごとに現在の状況を把握し、施設のサービス、必要性、さらに修繕履歴、今後の修繕、改修などの将来負担コストをシミュレーションし、問題点や課題を整理し、更新・集約化・複合化などの検討を進めるべきだと思うが村長の考えは。

●村長 小林 優

鳴沢村では、築30年以上の建築物が全体の約



築40年となる鳴沢保育所

半分を占めており、役場庁舎が56年、総合センターが44年、保育所、勤労青年センターが40年となっている。

平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画では、今後40年間、このまま道路、水道の配管などを含む公共施設を全て保有し続けると年間5.4億円の更新費用が必要になる。高齢化や人口減少などの実態に合った利用予測から、施設の総量を約8%縮減する計画となっている。

今後は、ご提案いただいた公共施設の診断書的な施設ごとの利用状況と課題を整理し、施設の更新、統廃合や長寿命化を具体的に進めて行く。

渡辺 正人 議員

## Q 災害ごみの処理対策は

### A 災害廃棄物処理計画に基づいて対応

いる。仮置き場はJAなるさわ集出荷場裏とし、大量の災害廃棄物が発生した場合はジラゴンノ運動場を使用する。

処理計画に基づいた訓練としては、山梨県主催の災害廃棄物処理情報伝達訓練等に毎年担当職員が参加している。今年度は令和2年1月の研修会に参加予定である。

村では業務継続計画に基づいて図上訓練を8月30日に実施した。臨機応変に対応することが重要と考えており、体制の強化も予定している。村民の訓練参加については、今後検討していく。

渡辺 次男 議員

今秋台風被害を受けた東日本各地では、大量の災害ごみの処理が課題となっていた。本村では事前の処理計画を作成し訓練を行っているか。

●村長 小林 優

平成29年3月に鳴沢村災害廃棄物処理計画を策定し、災害発生後の組織体制の構築、避難所に必要な備品の備蓄、災害廃棄物の迅速処理等を含め、山梨県及び県内市町村、静岡県内市町と応援協定を締結している。

また、オリックス資源環境株式会社等と災害時発生廃棄物の処理に関する協定を結び、災害廃棄物や生活ごみを3年間で処理する計画となって



大量に発生する災害ごみ（写真提供：北海道むかわ町）

## Q 総合センターを避難所 とした経緯は

### A 自家発電設備の有無などを 総合的に判断

台風19号襲来時、土砂災害警戒区域内の総合センターを避難所とした経緯は。また、福祉避難所(※)の周知及び要支援者への対応は適切であったか。

今後、土砂災害警戒区域等の防災対策はどのように進めるのか。

#### ●村長 小林 優

台風19号で山梨県内に初めて大雨特別警報が発令された。村では大型台風を想定して当日午前9時から保健センターを自主避難所として開設していたが、周辺地域の停電発生や備蓄品、避難人数の見込み等を総合的に判断して唯一自家発電設備を備えている総合センターを新たな避難所とした。

今回、34名避難されたが支援を必要とする方はいなかった。要支援者の避難は近所の方や自主防災組織などの共助により避難することになっている。役場職員による避難誘導は困難である。

福祉避難所へは一定の条件を満たした方のみを、各施設に受け入れや開設を要請する仕組みと



佐藤 博水 議員

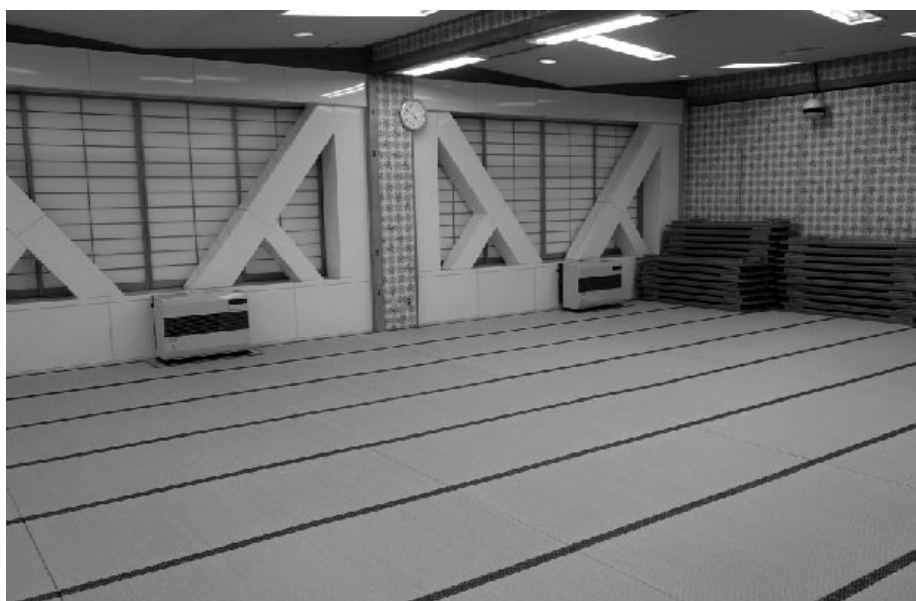
なっている。障害者等が直接避難することは出来ないため福祉避難所の指定を住民に公表していない。受け入れ先が適切に対応できるよう、平素から協力・連携体制の構築に努めている。

土砂流出防止対策としては、現在の堰堤は昭和60年以前に整備したもので一定の機能を果たしているものの、容量が満杯で上部を土砂等が流出している。県知事に要請し、県土木整備部及び森林環境部に対策を検討していただいている。また、総合センター裏山の急傾斜地対策は令和2年度に設計し3年度には工事予定となっている。

災害を未然に防ぐ強靱化対策や防災訓練を充実して、安心して暮らせる地域づくりを推進する。

#### ※福祉避難所

災害時に、一般避難所では避難生活が困難な高齢者や障害者、妊婦など、災害時に援護が必要な人たちに配慮した市町村指定の避難施設。



避難所となった総合センター

## Q 鳴沢村村長の進退は

### A 引き続き村政運営に取り組みたい

村長は本年5月末まで山梨県町村会の会長として活躍。財政調整基金は、就任以来2倍以上増加で県下トップレベルの積み増しをされた。

災害時活用されるべき役場庁舎建設、国道139号の避難道路としての拡充対策や渋滞緩和対策等、未達成の事業を完遂される考えは。

#### ●村長 小林 優

財政調整基金は分散して積み増した。30年度決算では34億2900万円で、就任以来16億9700万円を積み増すことができた。また、8億1200万円あった公債も、今年度末には3億6100万円に減少見込みである。古い庁舎の建てかえにはまず基金を増やさなければと考えた。

また、村を将来的に維持するには安全で安心して住める村づくりをと思い、県との行政課題勉強会を開催していただいた。



渡邊 明雄 議員

災害に強い強靱な村づくり、災害時の拠点となる役場庁舎の建てかえ、国道139号の避難道路としての拡充対策、渋滞対策については、村の長期総合計画の中で村民の皆様を抜粋してアンケートをとっており、その結果も参考にさせていただきたい。

このように懸案していることも多く残されており、議員何名かのご推薦をいただき、体調にも異常がないので、引き続き村政運営に取り組みたいと思っている。

## Q 森林環境の保全対応は

### A 森林環境譲与税(※)を活用し 間伐等を実施予定

北海道胆振東部地震の被災地を訪れ、山間の土砂崩れ被害状況を視察した。

近年、想定外の災害が頻発しており災害防止に早急な森林保全対応が必要である。荒れた状態の民有林への今後の対応について考えは。

#### ●村長 小林 優

鳴沢村においても自然災害を想定し、地域の強靱化を推進していく必要がある。

平成25年には大田和国道から茅つけ林道に至るエリアの私有林の間伐等を実施。足和田山区有林にも山梨県森林環境税を活用した間伐等を順次実施している。

国の地方自治体への森林環境譲与税の譲与が本年度から始まる。本年度240万円で、年々増加し、令和11年度には約650万円の譲与が見込まれる。これを財源とし、令和2年度には私有人工林の施業履歴等、現状把握の調査委託を予定。施業が必要な森林の所有者への意向調査を実施し、村に経営や管理を委ねたいとの回答があ



小林 清一 議員

った場合は、間伐等を行う予定となっている。約403ヘクタールについて5つのエリアに分け、順次施業を行う見込みである。

#### ※森林環境譲与税

個人住民税均等割と併せて徴収され、税収は間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や、普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てられる。



北海道厚真町の土砂災害現場

## いまだ残る北海道 胆振東部地震の爪痕

あつまちょう

### — 北海道 厚真町・むかわ町などを視察 —

昨年11月18・19日の二日間、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の被災地である厚真町、むかわ町及び近隣の道の駅などを視察いたしました。

厚真町は道内唯一となる最大震度7を記録し、37名の方が犠牲となりました。

町内では「土層滑り」といわれる表層崩壊の土砂災害が広範囲に渡り発生し、その箇所数は6千箇所以上に上ったそうです。被災現場も視察しましたが、言葉を失うような惨状でした。

復旧作業は現在も続いており、町内だけでなく町へ向かうまでの道路も至る所で損壊し工事中の箇所が多数ありました。

むかわ町では最大震度6強の地震が発生し、一人の方が犠牲となりました。大規模な土砂災害はなかったものの、家屋の損壊が多く発生したようです。

研修では、事前準備として、職員の家族の安全確保のための教育や、災害協定の再確認の必要性などがあげられ、また、大量に発生する災害廃棄物の保管場所及び受け入れ先もあらかじめ決めておいた方がよいとのことでした。

道の駅は、胆振東部地震の際に避難所の一つとして活用された「むかわ四季の館(むかわ町)」や、昨年4月にオープンした最新の施設で蒸気機関車を展示している「あびらD51ステーション(安平町)」、サイロを模したレンガ造りの外観が美しく、農産物が人気の「マオイの丘公園(長沼町)」の3箇所を現地視察いたしました。



むかわ町での研修の様子



厚真町での研修の様子



厚真町の土砂災害現場



むかわ四季の館



あびらD51ステーション



マオイの丘公園



## 急傾斜地崩落現場に見る自然の驚異

広報常任委員 渡辺次男

厚真町・むかわ町ともに町議会議員、副町長に迎えていただき、災害復興担当者から説明を受けました。

「役場庁舎が自家発電で点灯したことにより町民に安心感を与えた」「ダンボールベッドは設置して初めてスペースが足りないことがわかった」等の体験談を聞くことができました。

現地視察では、19名の方が亡くなられた急傾斜地崩落現場等を目の当たりにして自然の脅威を認識させられました。

道の駅では、温泉とホテル、鉄道資料館等の特色ある施設を併設して来客確保に努めていました。

今回の経験を活かし災害に強い村づくりを推進していきます。

# 議会要望事項の 回答を受けました

12月17日に全員協議会を開催し、  
村長へ提出した議会要望事項の回  
答を受けました。

議会の要望事項と、執行部回答の  
要旨は次のとおりです。

※内容を要約しています。

## 保育所について

(1)駐車場が、雨が降ると大きな水たまりができ、送迎の際に支障となっているため対応していただきたい。

### 【住民課】

財政状況などを勘案しながら排水対策を検討します。



雨で水浸しになる保育所駐車場

(2)ゴミ捨てで現場を離れることやゴミの量が増えたことなどの諸問題を考慮し、保育所周辺にゴミステーションを設置していただきたい。

### 【住民課】

以前から設置を検討していましたが、ゴミ収集の時間が登園時刻と重なり危険であるため設置を見送っております。引き続きゴミの量や収集時の安全性の確保などを勘案し設置を検討します。

## 学校教育について

来年度のプログラミング授業の必修化に伴い、専門知識を有する人材の活用などサポート体制を整えていただきたい。

### 【教育委員会】

I C Tサポーターを委託し担任と共に指導を行っており、引き続きサポート体制を維持していきます。

今後は新たなI C T機器を導入し、子供たちの情報活用能力の育成と、教科指導における目標達成に効果的な活用推進を図ります。

## 防災について

避難所の通信環境の維持・向上のため、Wi-Fiの整備を進めていただきたい。

### 【総務課】

国庫補助金等を活用し整備を考えていますが、工事費

や維持管理費用など日常(平時)の利用人数等を含め、総合的に検討します。

## 観光と農業の連携について

とうもろこしについて「地域団体商標」を取得するなど、ブランド化を推進していただきたい。

### 【振興課】

ブランド化については生産者と協議の場を設け、意見を聴いたうえで推進していく予定です。

地域団体商標取得については、生産者の意向により取得の必要がある場合はJ A鳴沢村に協力を依頼します。

## 道の駅なるさわについて

リニューアルも視野に入れ、調査研究業務の委託費を来年度予算に計上し、改善に向けての具体的な取り組みを進めていただきたい。

### 【企画課】

道の駅なるさわは、富士山が裾野まで見渡せるという絶好のロケーションではありますが、施設の老朽化等により利用者からの満足度が低くなっています。リニューアル等も必要と考えますので、現状の問題に対する調査や魅力ある観光拠点としての施設整備の計画策定をコンサルタントに委託したいと思っております。



絶好のロケーションの道の駅なるさわ

## 地域公共交通について

鳴沢・精進湖・本栖湖周遊バスについて、通学や通院に利用できるよう増便を検討していただきたい。

### 【企画課】

村内を走る路線バスが一番早い便を利用すれば、近隣の各高校への通学や通院も可能だと思われます。しかし、利用者が極めて少ないのが現状です。これは高額な

運賃負担が原因と考えられます。

アンケート調査を行い、保護者や高齢者の要望を把握し、住民にとってより良い地域交通のあり方を考えたいと思います。

## 国道について

大田和地区の旧セブンイレブン周辺に街灯がないため、関係機関に街灯設置を働きかけていただきたい。

### 【振興課】

国土省富士吉田国道出張所に連絡したところ、照度測定を行い、「道路照明施設設置基準」に定める照度以下の場合には道路照明灯の設置を検討するとのことでした。



国道139号旧セブンイレブン周辺

## 村道整備について

国道の渋滞回避や防災道路としての活用のため、ソーラーカフェ付近からキャノンアネルバ南の村道につながる村道の新設と、そこから大坂道へ至る村道の拡幅等の整備を検討していただきたい。

### 【振興課】

要望の路線の想定では、国道と交差する起点・終点の距離が短いため、渋滞回避や防災道路としての効果は薄いと思われますし、迂回車両による交通量の増加対策も考慮しなければなりません。

また、膨大な事業費が必要となるうえに、焼問地区の権利関係も大きな課題です。

住民アンケートを今年度中に予定しており、その結果を検証しながら避難対策を含めた検討を行います。

## 総合センターについて

(1)調理室の給水関連設備の修繕や収納棚の改修など、設備等の改善を行っていただきたい。

### 【教育委員会】

水道は漏水箇所の修繕を行いました。  
収納棚については、管理人・利用団体の要望を聞き取り改善を図ります。

(2)土砂災害警戒区域にあること、また、老朽化も進んでいることから、将来的に移設も含め、建て替えの検討を進めていただきたい。合わせて遊学館の機能強化なども検討願いたい。

### 【教育委員会】

建て替え等につきましては、役場庁舎及び他の公共施設も含め総合的に検討します。

なお、総合センターの急傾斜地につきましては、県の急傾斜地崩壊対策事業により令和5年度には工事完了の予定となっており、土砂災害警戒区域の急傾斜地から外れる見込みです。

遊学館は外遊びのスペース確保・安全性の確保等を含め一体的に機能強化を検討しています。

## 体育祭について

(1)競技に避難所パーティションの組み立て競争等を取り入れたり、賞品に防災備蓄品を活用したりといった、防災意識啓蒙を兼ねた企画を検討していただきたい。

### 【総務課】

防災意識啓蒙と備蓄食料の有効活用として、保育所で備蓄食料を活用した食事の提供や、引き渡し訓練時に保育所職員を対象にした「防災講座」を実施しております。

体育祭の競技につきましては、スポーツ推進員等関係者と内容を検討いたします。



乾パンで作ったおやつを食べる園児たち

(2)組に加入されていない方も気兼ねなく参加・観戦できるように、テント等を設置して滞在しやすいスペースを創設していただきたい。

### 【教育委員会】

村でテントを設置する予定はありませんが、以前から組に加入されていない方のために滞在スペースを確保しており、今年度はブルーシートを敷きました。

## その他

(1)村HPのこまめな情報更新と、スマートフォン対応や外国語対応などを進めていただきたい。

### 【企画課】

新規事業の紹介・ページの更新・不要ページの削除を徹底するよう、全職員に注意喚起を行いました。

スマートフォン対応、外国語対応については、HPの全体的なリニューアルも含め検討中です。

(2)活き活き広場に折りたたみ式ベンチ等を配備し、誰でも利用できるようにしていただきたい。

### 【総務課】

利用者の方が、簡易なイスやマット等を用意するなどし、ご利用してください。

# なんとってストレスフリー!

北川 康子

鳴沢村と出会ったのは今から30年ちょっと前、当初は週末を自然の中で過ごしたいという別荘族。それがいつの間にか鳴沢村で過ごす時間が長くなり、村民のひとりに加えていただいて16年が過ぎました。

ここでの暮らしは快適そのものです。春から秋までの過ごしやすさはいままでもなく、厳しい冬の寒ささえストーブクッキングや火鉢、湯た



北川さんのハンドメイドのバッグ

んぼなど、時代に逆行するようなアナログ生活を楽しんでいる感があります。

数年前から通い始めた村のレザークラフト教室、木工教室を通じて物作りの面白



さにも目覚め、いまでは手作り市やマルシェに『NARUSAWA Hand Craft』という名前で出店するほどに。

いろいろな出会いもあり、仲間も増え、これもまた楽しみのひとつになっています。どこかで見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね。元気で楽しく歳を重ねていけるのも、私にとってはストレスフリーな鳴沢村での生活あってこそのことと思っています。

## 広報常任委員推薦! 鳴沢のおすすめ!

広報常任委員 渡辺 宗司

### 鳴沢いきやりの湯

山梨県内には公共の温泉が約45カ所ありますが、その地区の住民専用の温泉は鳴沢いきやりの湯以外にはありません。

大人300円、学生(中学生以上)200円、小学生100円と大変安くなっております。住民登録されている70歳以上及び小学生未満の方は、使用料が無料です。

村民の健康増進と福祉の向上を図るための温泉施設として設置していますので、みなさん気軽に利用してください。

※木曜日は定休日になります。 問い合わせ ☎85-3663



### 議会からのお知らせ

**傍聴してみませんか**  
次の定例議会は**3月中旬**に開会予定です。

傍聴可能な日程は、  
役場議会事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。

4月にCATVでも放映予定です。  
ぜひご覧ください。

☎85-2311 (内線111)

総務教育厚生常任委員会より

いつまでも生き活きと達者に暮らせるよう、日頃から健康管理を心がけましょう。

**村内の医療機関**  
なるさわクリニック ☎0555-25-7571  
なるさわ接骨院 ☎0555-85-3700  
安富歯科医院 ☎0555-85-3955

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開しています。また、本会議の会議録も公開していますので、ぜひアクセスしてください。

